

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	大砂土デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区今羽町637番地1</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、老人デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③事業内容 老人デイサービス事業(定員15人※要支援者含む) 総合事業(交流型通所サービス)</p> <p>④施設の概要 開設年月 平成10年1月 延床面積 228.64㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 地上4階建(センターは1階部分)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 欣彰会
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度 5,550千円 令和2年度 5,695千円 令和3年度 5,695千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 3,530人(前年度3,396人) ・稼働率96.1%(前年度92.8%)</p> <p>◇業務実施状況 ご利用者の健康管理、様々な運動による日常生活機能動作の改善や向上、生きがい活動の充実等を中心に事業を展開。近年では認知症利用者への対応として家族支援などにも積極的に実施しております。</p> <p>②維持管理業務の状況 新型コロナウイルス対策における消毒の徹底、事業所全体の清掃、車両管理、設備や備品の管理を行い、昨年度につきましては、和室の改修工事や車両駐車場の外構部の工事などを行い、利用者サービスの向上及び安全面の確保に繋げております。</p> <p>③その他の業務 ・併設する泰平小学校との交流や福祉教育の推進や関連行事の出席 ・評議委員として年2回の運営推進会議の出席と地域との積極的な交流 ・小学校が開設するコミュニティスクールの準備委員会 ・さいたま市老人福祉施設協議会の委員</p>
(6)収支状況	<p>①収入 ・利用料金収入32,301千円 (前年度29,590千円) ・指定管理料5,695千円 (前年度5,695千円)</p> <p>②支出 ・人件費25,064千円 (前年度25,772千円) ・事務費8,153千円 (前年度4,693千円) ・施設管理費1,386千円 (前年度1,266千円) ・事業費3,974千円 (前年度4,114千円)</p>

(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	令和3年7月に食事サービス満足度調査を実施。令和4年2月に利用者満足度調査を実施しております。意見箱等も随時設置はしていますが、職員へ直接申し出されるケースが多く、その時点で対応しております。
(8) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・食事サービス満足度調査で麺の要望が多く出たため、対応可能な範囲で提供できるよう調整しております。 ・令和3年度の支出について事務費が増加しましたが、理由として和室の改修工事や送迎車両付近の外構工事など、利用者サービスに直結する必要な改修を行いました。 ・業務改善の一環としてICTシステム導入に伴う、環境整備なども行っています。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
安定した稼働率の維持	新型コロナウイルスの影響を受けることなく、前年度よりも安定した事業運営ができました。ここ数年、ご利用者も外出する機会が大幅に減っており、唯一のデイサービス利用が外に出る機会となっている方も多くおり、そうしたことが利用の増加に繋がっていると考えております。
高齢者元気力アップ応援認証事業所としての新たな取り組みの実現	当初の目標でありました保育園などへの慰問は達成できませんでしたが、感染が落ち着いていた時期には園児たちとの交流が図れ、子供たちへのプレゼント作りなどを行うことができ、ご利用者も熱心に活動に取り組まれました。また、ADL維持等加算の最終評価でも改善された方が多くおりました。
地域に根差した事業所として、地域住民と共に成長できる関係性の構築と社会貢献活動の普及に努めます。	地域にいる認知症高齢者への対応などを学校側と一緒に行えたことや、泰平小学校で開設するコミュニティースクールの準備のため、PTA会長や自治会長の方々と協働して新たな共有の場が持てるようになりました。
総合事業の新規受け入れを積極的に行います。	昨年7月より本格運用に向けた和室の改修工事を行い、総合事業専用のフロアで柔軟なサービス提供ができるように進め、1名の利用者が利用をスタートさせました。新型コロナウイルスの影響により、各事業所への周知等を積極的に行えていない状況があるため、総合事業の魅力発信を行い、新規獲得に向け積極的に動き出していきます。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

新型コロナウイルスの影響は少なからずありますが、地域密着型通所事業運営自体には大きな影響もなく安定した運営が実現できました。ご利用者の外出頻度も著しく低下しており、デイサービス利用が唯一の外出となっている方も多くおります。当事業所では一人ひとりが楽しめる環境に加え、少しでも健康的に過ごせるよう体を動かすレクや体操などを積極的に取り入れ、ご利用者の運動不足の解消に繋がるよう支援しております。また、昨年7月に和室の改修工事なども行い、ご利用者が使いやすい環境を整えたことで、自発的に趣味活動する場、お仲間とのゆっくり話のできる空間としての活用なども図ることができ、ご利用者が落ち着いて過ごせる環境の幅を広げることができました。事業所の評価としては、感染対策を万全に行っている公共の場としての信頼性をご利用者やご家族より得ることができ、安心してご利用できていることは大きな評価と考えております。また、ご利用者の満足度やニーズにも常に変化を求めながら、より良いサービス提供となるよう心がけていることで、ご利用者からのデイサービスへの期待値も大変高いものとなっております。総合事業につきましては、当初の目標には届いていない現状もあるため、引き続き事業の魅力発信をしていき、新規獲得に向けた課題として積極的に活動していきます。最後に地域との積極的な交流についても、新型コロナウイルスの状況に見合った新たな交流方法を模索し、地域と共生できる社会の実現に向けた取り組みをしていきます。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・運動カリキュラムの積極的な導入や、諸室の改修による利用環境の整備により、利用者の活動スペースの確保や柔軟なサービス提供が可能となったこと等、利用者へのサービス向上に努めた点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・新型コロナウイルス感染症対策について、施設内の衛生管理を徹底する等、事業運営の維持に努めた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。